

だれ 誰でも！ いつでも！ いろいろできる

こどもりもり

練馬区立こどもの森通信

vol.24

発行：PLAYTANK 2019年2月

所在地：練馬区羽沢 2-32-7

開進第四小学校ならび

時間：9時～16時半（10月～2月）
9時～17時（3月～9月）

WEB：nerima-kodomomori.com

F B：fb.com/nerimakodomomori



練馬区立 こどもの森

「こどもりもり」は、イベント情報やプレーリーダーからのメッセージを、5歳児以上と保護者にお届けする通信です。

すいようび
水曜日は、
つく た
作って食べよう！
べっこうアメと
カルメ焼き！！



2・3月
まいしゅう すいようび
毎週水曜日

15:00～16:00

プラス 2月 毎週日曜日

13:00～15:00 荒天中止

しちりん つか
七輪を使って、
さとう
砂糖をぐつぐつさせると...
じょうきゅうしゃ
上級者はカルメ焼きにちょうせんだ！

ゆみ つく
弓を作ろう！

3月10日(日)

つくれる時間
12:00～15:00 荒天中止

うま い
上手く射れたら
気持ちいい！

すき いろ
好きな色に
カスタムもいいね！



大人の方へ

べっこうアメ作りに使用する砂糖の
寄付を募集しています。
衛生的な観点から
スティックシュガーだと助かります。



3月の大会は
グランドチャンピオン決定戦！
今年度の優勝経験者よ、つどえ！

いま あつ あそ
今、とっても熱い遊び！
ちようせんしゃ ま
挑戦者を待ってるぜ！



まいしゅう にちよう
毎週日曜は
たき火

10:00～15:00

こさめけっこう
小雨決行
どろ や
泥だんごを焼いたり、
くさに
草を煮たりできるよ。



※食べ物、アルミホイルなど必要なものはおうちから持ってきてね。

2月24日(日)
3月24日(日)
クギさし大会

13:00～練習
14:00～試合

もり もり

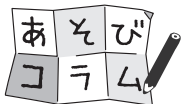
こどもの森の利用案内

- ★ こどもの森は、時間中いつ来ていつ帰っても OK。お金はかかりません。
- ★ こどもの森にある道具は自由に使えます。使い終わったら片づけてね。
- ★ おやつやお弁当を食べることもできます。ごみは持って帰ってね。
- ★ 汚れてもいい服や靴で来てね。着替えもあるといいよ。
- ★ なくなったら困る大事なものは、おうちにおいてくるか身に付けて遊んでね。



大人のみなさんへ

こどもの森から保護者のみなさんへのお便りです



やってみなくちゃ、わからない。

初めてのたき火で、落ち葉を少しずつ入れていた小 2 男子 2 人組。だんだん盛り上がってきて、どっさりひと抱え分の落ち葉を入れようとしたところ…

小 5 男子が、「お前ら、それ入れんなよ！落ち葉は燃えて飛ぶから、人に当たったら危ないだろ。さっきからちょっとずつ飛んでんだよ」とびしゃり。

男子 2 人組は、一瞬固まった後、生えていたキノコを持ってきて「これならいい？」と小 5 の兄ちゃんに聞きます。「それはいいよ！面白いじゃん！」。いつの間にか、3 人で遊びが盛り上がっていったのでした。

火は怖い、だけどもめちゃうちゃ面白い

家庭のキッチンが IH が多くなり、花火も自分の家の前でできない昨今。理科の実験でもない、火を体験する機会にはほぼない子も多いかもしれません。こんな環境で過ごす子どもは、前述の 2 年生のように、ちょっとした火の怖さを知りません。

近づけば火は熱いし、触ればやけどをする。落ち葉や紙は燃えて舞い上がり、火事につながることもある。それを理解するには、子どもはまず自分で体験してみるしかないと思います。

実は、ぴしゃりと諷めた小 5 男子自身も、たき火で小さな火傷を何度もし、落ち葉をどっさり入れたらどれほど大変なことになるかを体験して知っているのです。その後 2 年生の子も、自分で入れた落ち葉が飛んで足に当たり、あちっ！となりました。小 5 の子に「ほらみる！」と笑いながら突っ込まれ…笑。こんな経験をした子は、きっと火の怖さを肌感覚で学んでいるでしょう。

「やっちゃった！」から学ぶこともある

ナイフや包丁も同じです。ちょっとした切り傷の痛みを味わいながら、その怖さ、そしてナイフがあるからこそその面白さや便利さも知っていくのです。何事も、やってみなくちゃわからない。

こどもの森では、火やナイフなどもあそび道具として使えます。お父さん達が張り切って、薪をくべたり、木工をする姿もあります！子どもが、そんな大人の姿を見て、真似して、何が危ないか、何が面白いかを知る。これぞまさに体験学習！？なんて思うのです。



月日は巡り、子どもは育つ。

エピソード

30 年度もまもなく終わりに近づき、こどもの森もなんと、開設から丸 4 年になるとうじています。4 年ともなると、材木を使って手作りしているこどもの森のテーブルやいすなどが続々と傷んできており、先日新しく作り直す作業をしました。



のっしー

新しい材木をのこぎりで切ったり、電動工具を使ってネジで止めるなどの作業で大活躍してくれたのは、高学年や中学生の子たちです。大人顔負けの工具さばきで作り上げてくれました。「ささくれがあると誰か怪我するかもしれないよね」と、紙やすりを使って入念に磨いてくれたりもしました。

その日には、材木と車輪を使い、小さい子たちが遊べるようにとキックボードのようなものや、乗って遊べるものなど、一緒に遊具も作りました。「こうした方がちっちゃい子たちが楽しめるんじゃないかな」「小さい子たちが怪我しないように作らなきゃ」と、他の子たちがどう使うか、どう楽しむかを想像しながら作っている姿がありました。

少し前にはとにかく「自分が楽しい！」ことを追求して遊んでいた子が、少しずつ成長して、まわりに目が行くようになって、今度は他の子たちが楽しく遊べるように力を使う立場になっている…それに、こどもの森であそび始めた頃は、みんな危なっかしい手つきで工具を使っていたのが、今では実に板についているじゃあないか。かっこいいぞ！兄ちゃんたち！

子どもたちはみんな学年が上がったり、生活サイクルが変わったり、興味関心事が外に向くなどして、いずれこどもの森から卒業していくものです。でも、たまにふらりとよって、素敵な先輩風を吹かせて、他の子たちの刺激になってくれる、そんな多様な年齢の子たちが関わり合えるこどもの森になるといいな。そう思っています。



こどもの森は、身近な自然のなか、子どもたちの発想で自由に遊べる緑地です。何をして、どうやって遊ぶか？を、子ども自身が決められるよう、なるべく手や口を出さずに見守ってあげてくださいね。心配なこと、わからないことは、プレーリーダーにどうぞ声をかけてください。